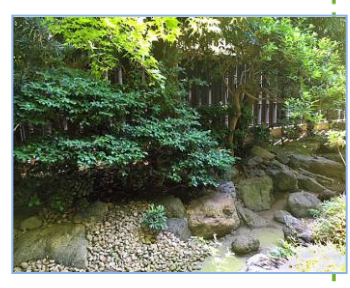


# 発見! まちのグルメ

## 和洋割烹 竹むら

滝王子通り沿い大井五丁目にある老舗の割烹。創業は大正七年で今年創業百年になります。



初代の営むお蕎麦屋さんからスタートし、二代目の割烹料亭を経て、現在の和洋割烹に。三代目オーナーシェフの竹村眞吾さんは、フランスで修行を積まれたのち帰国し「お客様に歴史ある和食と本格フレンチのコラボレーションを楽しんで頂きたい」と、馴染みのあるランチメニューから本格的な和食とフレンチのコースまで、幅広いお料理を提案しています。



人気のランチメニュー 和洋定食

また「鮮度に勝る調味料は無い。お客様に新鮮な食材を提供したい」と、毎朝シェフ自ら市場で仕入れを行い、その日の食材によってディナーコースのメニューを決定。日替わりランチのお肉やお魚はさくさくの衣でボリュームたっぷりのフライ、また和洋定食やお刺身定食も人気の定番メニューです。

お席はお座敷席とテーブル席があり、どちらからも日本庭園を臨むことが出来ます。落ち着いた空間で、少し日常から離れて、新鮮なお料理と共にリフレッシュしてはいかがでしょうか。



オーナーシェフ 竹村眞吾さん

≪和洋割烹竹むら≫  
 ランチ 11:30~14:30  
 ディナー 17:30~22:00 (要予約)  
 月曜定休  
 大井5-1 2-3

【吉永・時繁】

ゆるキャラのような味わい深さといふパクトがありますね! 笑  
 本来見えないはずのおにぎりの具である梅干しが顔になっているというのが、なかなか独創的で良いと思います!



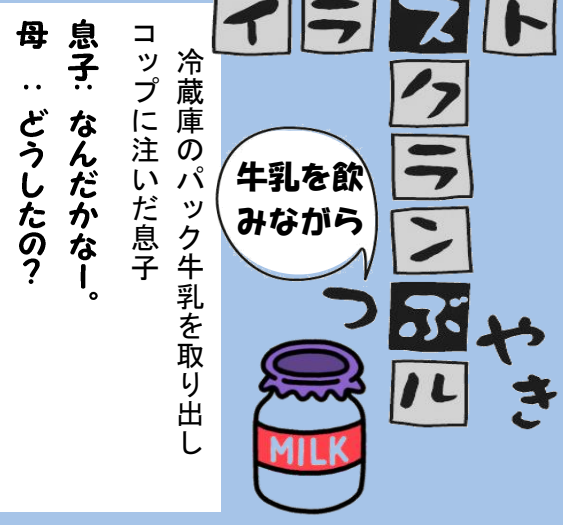
『梅おにぎり』  
 大井第一小 六年 犬



梅おにぎり

息子: 注ぐところに「あける」ってかいてあるんだよ。  
 母: あつ! それはあけ口(あけぐち)ってかいてあるのよ(笑)  
 \* \* \* \* \*  
 【五十嵐・角矢・高木】

息子: この会社の牛乳偉そうなんだよな。  
 母: えっ? 偉そうってどういうこと??  
 息子: 注ぐところに「あける」ってかいてあるんだよ。  
 母: あつ! それはあけ口(あけぐち)ってかいてあるのよ(笑)



確かに『あける』って書いてあったら、牛乳開けるたびに偉そだになって感ずますよね、  
 【五十嵐・角矢・高木】

大井森下町会ご出身、20代の頃から町会の活動に関わり、現在では大井森下町会会長、大井第二地区連合町会会長、等々多くの活動に携わっておられます。  
 趣味はお囃子と太極拳。太極拳は15名ほどの生徒さんに教えているそうです。お囃子も年に一度行われる山中まつり、地区文化祭などで披露されています。他にも、山中いきいき広場運営協議会会長、パソコン教室の講師と毎日大忙し! 周囲の方々に頼りにされているんだなと感じました。  
 生まれも育ちも大井町という事で、取材時には地域の昔話をたくさんお話しして下さいました。



わ!しながわ 第7回  
 地域の方を紹介するコーナー。次の方を紹介して頂き「地域の輪」をつなげていきます。  
 おおやぎ しげる  
 大八木 繁さん

# 行ってみ隊が行く!!

## 田舎の学校



山中小「会社活動」プランター

物や野菜の世話を親子で行うことで、ノウハウのない親御さんも子どもと一緒に学ぶことができる点が

大井町駅中央口から徒歩2分、駅前中央通り沿いのビル2階にある『田舎の学校』。「都会にあるのに田舎の学校?」「学校とは思えない外観だけど、本当に学校なの?」と思ってしまう人は多いのではないだろうか。  
 実は、伊藤学園の『お米隊』、山中小の動物のお世話をする委員会活動『会社活動』と深い関わりがあるのです!  
 今回は、そんな謎のウエルに包まれた田舎の学校を取材させていただきました。

多忙を極める現在でも、同好会発足当初の活動理念は大切にされており、子どもたちに野菜・花壇作りのノウハウを教える事にやりがいを感じていらつしやいます。  
 例えば、伊藤学園では『お米隊』の先生として子どもたちに米作り(田おこし・田植え・収穫・脱穀)、品川かぶの除草や畝作りに携わり、また、山中小では『会社活動』の皆さんにお花の栽培方法を教える中で、大井町駅前中央通り(通称どんたく通り)の数か所に朝顔のプランター菜園を設置し、行きかう人の目を楽しませてくれています。

田舎の学校は『都市に適応した農業教育を行う』目的で、17年前に同好会として活動開始し、現在は藤安さんが代表取締役として引き継ぎ、有限会社として植栽業全般を本業としています。お仕事の内容は企業の屋上緑化、マンションなどの屋外菜園の施工や植栽管理など多岐にわたり、霞が関の農林水産省正門に新種の桜を植樹したこともあるそうです。



伊藤学園「お米隊」活動の様子

「お米隊だったお子さんが卒業して、道端で挨拶してくれたのは嬉しかったなあ」と話して下さる気さくな藤安さんのお人柄は、まさしく頼りになる『田舎の学校』の先生そのものでした。  
 9月~12月の4ヶ月間、イトーヨーカドー大井町店屋上にて、貸し菜園事業を行っています。(主催: NPOまちづくり大井) 一ヶ月三〇〇〇円の利用料で、自分の用意した種や苗を自由に栽培することが出来ます。(2018年秋のみ、オープン記念で一ヶ月二〇〇〇円)  
 基本的な用具は貸出しOK。月に8回は田舎の学校のスタッフの方が来園するので、栽培の方法等相談することも出来ます。頻繁に通えない方には、水やりのお世話も手伝って下さいます。

●貸し菜園の申込みやご質問は●  
**田舎の学校**  
 電話: 03-5742-5772  
 メール: saien@ooimachi.jp  
 ●植栽や伐採のご相談は●  
**緑化隊**  
 電話: 03-5742-5727  
 ホームページ  
<http://www.ryokatai.co.jp/>  
 どちらも大井1丁目21-13  
 村上ビル2階

【南谷・小林・町田・檜山】

よいと思う。「普段の生活で感じてしまう見栄や上下関係などのストレスからも解放されメンタルヘルスケアにつながるのでは?」とお話してくださいませ。

実際にあった素敵なエピソードをご紹介します。  
 藤安さんが携わる老人ホームの畑で、表情を無くした認知症のおばあちゃんが、ご自身で野菜を栽培・収穫する事を通して、笑顔が戻り、お話もされるようになったそうです。聞いていた私たちも、おばあちゃんのご家族やサポートスタッフの方々の幸せそうな笑顔が思い浮かぶようでした。



藤安社長とスタッフの松橋さん